地域活性化研究

REGIONAL VITALIZATION RESEARCH

第23号 the twenty-third issue

岡崎大学懇話会

地 域 活 性 化 研 究

第23号

岡崎大学懇話会

岡崎大学懇話会 令和5年度会長 髙橋 実 (愛知産業大学・愛知産業大学短期大学 学長)

岡崎大学懇話会は、岡崎市内にある7大学・短期大学から構成され、平成9年11月以来、毎年順調に地域と連携して多くの活動を行ってまいりました。令和2年に入ってからのわが国における新型コロナウイルス感染の広がりにより、当懇話会も対面イベントの中止あるいはオンライン開催といった形で様々な影響を受けましたが、令和5年度に入り、ようやく当懇話会も従来の研究交流活動を再開することができるようになりました。

特に当懇話会活動の柱の一つである「地域活性化フォーラム」は、その研究内容と発表において各大学の特色を表すもので、地域に係る課題が研究され、質の良い研究成果はこの『地域活性化研究 23 号』に収録されています。

当懇話会活動のもう一方の柱である「学生フォーラム」では、8件の研究発表、25件の展示が行われ、日ごろの学習成果の内容から得られた作品や教材、アイテムの展示そして研究発表、また、特定の課題に着目した研究についてのポスターやプレゼンテーションなど、地域的にも岡崎にとどまらず、大きな広がりが見られました。質疑応答や懇親会でも活発な意見交換や対話によって、学生、教職員、地域の方々の交流は十分行われたと感じています。これらの成果も『地域活性化研究23号』に盛り込まれています。

岡崎大学懇話会の存在とその活動は、今後も岡崎を中心とした三河地域も含め地域に貢献できることを願ってやみません。今後ますます予測不能な未来が待ち受けるわが国および地域社会において、懇話会の果たす役割も大いに期待されるところであり、この『地域活性化研究』が先導的役割を果たすことができるでしょう。岡崎市をはじめ、岡崎大学懇話会への一層のご支援を関係各方面へお願いするとともに、地域への貢献を果たすことを誓い、巻頭の言葉とさせていただきます。

最後に、このような状況の中、参加大学の皆様の多大なるご協力、ご尽力によって、この『地域活性化研究 23 号』の編集が行われ、無事発刊に至りました。関係各位の熱意とご努力には敬服するものがございます。ここに、記して満腔の謝意を表します。

目 次

【巻頭言】

【第 23 回 地域活性化フォーラム】	
子育て支援活動「赤ちゃんとお母さんのふれあい広場」の継続的活動の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
Listen to the Voices - 一人ひとりの死を集めて - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
岡崎市鉢地川・南川における在来水生生物カワヨシノボリ・スジエビの成長と繁殖、 および国内外来種オヤニラミの食性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
岡崎市内の里山を活性化させる子どもの遊び環境について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
【第 23 回学生フォーラム】 藤川について知ろう〜そこから見つけた新たな提案〜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
造形系ゼミナール(石川ゼミ)の研究活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
ピエロに対する恐怖と不気味尺度の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
東日本大震災から学ぶ地域防災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
【研究論文】 被援助者が心理臨床家と看護師に求める共感的な関わりの検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
中京学院大学 今井田真実	

【編集後記】

CONTENTS

[Foreword]

[The Twenty - third Regional Vitalization Forum] A study of the continued activities in Childcare support activities "Baby and Mother contact area"	1
Yuko IDE Aichi Gakusen College	1
Listen to The Voices — Think about your death, and live better —	9
Growth and reproduction of the indigenous gobiid fish Rhinogobius flumineus and palaemonid shrimp Palaemon paucidens, and feeding habit of the non-indigenous sinipercid fish Coreoperca kawamebari occurring in Hacchi and Minami Rivers, Okazaki City····································	ر
Shinsuke Morioka, Wataru Hironaka, Koha Asai, Shun Asai University of Human Environments	
Creating a children's play environment to revitalize the satoyama (traditional Japanese rural landscape) in Okazaki City	27
[The Twenty - third Regional Students Forum] Department of Comprehensive Management, Faculty of Business Administration	37
Report on Research Activities of the Seminar on Plastic Arts (Ishikawa Seminar) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	39
Development of scale a Fear And Creepiness Towards-Clowns · · · · · · 4 Mikki Mizutani University of Human Environments	1
Studying regional disaster prevention from the Great East Japan Earthquake · · · · · 4 Takuto Watabiki, Miho Kawasaki, Miki Komiya:Student Association, Aichi Gakusen University	13
[Research Paper] An examination of the empathetic engagement that recipients seek from psychological clinicians and nurses Text mining with a focus on psychotherapy and hospitalization experiences	15